

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年8月2日(2018.8.2)

【公開番号】特開2018-86402(P2018-86402A)

【公開日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2018-021

【出願番号】特願2018-29407(P2018-29407)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月22日(2018.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の遊技動作を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技を実行するメイン制御手段と、

前記メイン制御手段の遊技動作に関連した演出の実行を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

演出的な動作をする可動役物と、

前記可動役物を駆動するためのモータと、

前記モータの回転位置を検出するための回転位置検出手段と、

前記回転位置検出手段により検出された回転位置に基づいて前記モータを制御する回転制御手段と、

を備え、

前記回転位置検出手段は、

光の受光状況に応じて出力態様が変化する光センサと、前記モータの回転に関連づけられて、所定の回転位置にあるときに前記光センサの光を遮蔽することが可能な遮蔽手段とで構成され、

前記回転位置検出手段が検出可能な前記回転位置として、

前記回転制御手段が前記モータの回転の減速を開始する契機となる第1の回転位置と、

前記回転制御手段が前記モータの回転を停止させるための処理を開始する契機となる第2の回転位置と、

があり、

前記回転制御手段は、前記モータを第1の方向に回転させるときと、前記モータを第2の方向に回転させるときとで、前記第1の回転位置と前記第2の回転位置とを検出するときの前記遮蔽手段の回転位置が異なることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明のある態様の遊技機は、所定の遊技動作を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技を実行するメイン制御手段と、メイン制御手段の遊技動作に関連した演出の実行を制御する演出制御手段と、を備える。演出制御手段は、演出的な動作をする可動役物と、可動役物を駆動するためのモータと、モータの回転位置を検出するための回転位置検出手段と、回転位置検出手段により検出された回転位置に基づいてモータを制御する回転制御手段とを備える。回転位置検出手段は、光の受光状況に応じて出力態様が変化する光センサと、モータの回転に関連づけられて、所定の回転位置にあるときに光センサの光を遮蔽することが可能な遮蔽手段とで構成される。回転位置検出手段が検出可能な回転位置として、回転制御手段がモータの回転の減速を開始する契機となる第1の回転位置と、回転制御手段がモータの回転を停止させるための処理を開始する契機となる第2の回転位置とがある。回転制御手段は、モータを第1の方向に回転させるときと、モータを第2の方向に回転させるときとで、第1の回転位置と第2の回転位置とを検出するときの遮蔽手段の回転位置が異なる。

—